



実践クラブ
北浦 守金 議員

問一 有明漁協問題

Q 有明漁協が機能不全となり閉鎖状態だが、市長はどのように受け止めているのか。

A 水産業は重要産業であり、大変憂慮している。9月下旬から閉鎖状態で組合員は苦勞されている。漁協は県が指導監督するが、市としてもすべての漁業者の支援が必要な立場で県とともに取り組んでいく。

Q 漁業権の影響はどのようになっているのか。

A ノリ・ワカメ養殖等の区画漁業権は、9月の一斉更新の際、漁協は申請されなかったため、養殖業者が共同で申請をして、県から免許してもらっている。

Q 水産業協同組合法に基づき、漁協に解散命令などができるのか。

A 法には条文もあるが、該当するかどうか判断できない。県は今回解散について考えておらず、今後とも正常化に向け、新体制発足を強く指導していく方針と聞いている。

問二 企業立地促進・雇用創出事業

Q 事業の開始時期と効果は。

A 新規企業の立地及び地場企業の事業拡大の促進と本市の産業振興及び雇用機会の拡大を図る目的で平成24年度から実施している。

実績は平成29年度までに18件の事業に対し、約3億7355万円の奨励金を支給し、設備投資が36億3054万円で、新規雇用は201人となっている。

Q 周知はどのようにしているのか。

A 商工会・商工会議所の会報等への折り込みやホームページへの掲載、また個別に事業所へ出向いて知らせている。今後も周知を徹底していきたい。

【その他の質問項目】

◇若者チャレンジ事業について



バラの会
楠 晋典 議員

問三 島原城築城400年記念事業

Q まちづくり・イベントの発案には独創的なアイデアが不可欠。実行委員会には高校生を含め若者をもつといえるべきでは？

A 実行委員会には高校生など若い人も参加できるようにしているが、周知不足などところもある。各学校にいろんなアイデアを募ることもできるよう、実行委員会の中で盛り込んで欲しいと思う。

Q お堀回りの歩道の整備について、新たにお堀側に新設する歩道は3人横並びで歩けるくらいの幅員をとれないか？

A バス等の大型車両をどちらの方向に一方通行にするかということも同時に考えていかなければならない。可能な限りゆっくり歩いて周回できるように考えていきたい。

Q 島原駅前交差点は、車の進入路が多く、歩行者にとっては危険な交差点と言える。この際、この交差点

の在り方も深く検討が必要ではないか？

A 島鉄との意見交換の中では、駅前の活性化を図りそのうえで路線バスをもっと有効的に活用すべきとの思いが強かった。安全かつ有効な面積を確保するうえでは、検討すべきことと思う。

問四 島原文化会館

Q 昭和49年に現在の場所に建てられた経緯は？

A 当時、2500人超が収容できる近代的な施設を完備する文化会館建設の要望が、町内会連絡協議会などの市民団体から強くあった。文化と教養の向上と福祉の増進を図るため、市の中心部でもある静かな文教地区として二の丸に決定された。

Q 市内だけではなく、市外からの利用も視野に入れた半島に一つの1000人以上の収容施設を、耐震診断もせずに廃止するのは。

A 現時点では平成38年度に廃止の計画であり、耐震診断も含めて市民のご意見も聞きながら進めていきたい。

【その他の質問項目】

◇新田町の水門にかかる川の藻の除去について